

重要な注意事項
受験当日に、写真を貼った受験票を持参しないと、受験できません。

平成30年度 危険物取扱者試験 試験案内

消防法(昭和23年法律第186号)第13条の5第1項の規定により福島県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

一般財団法人 消防試験研究センター福島県支部

※試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえで申し込みをしてください。申し込みされた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

願書の作成から免状の交付申請まで

試験概要を理解し、どの試験種類をいつ受験するか決める。 P2~5

受験願書の作成・申請

書面申請：郵送等による申請

電子申請：インターネットによる申請

受験願書の作成 P5~6参照
P18~19受験願書記入例参照

受験願書の提出 P3参照

受験票の受領 P7~8参照
受験票は試験日の約10日前に郵送します。

受験願書の作成提出 P6参照
(一財)消防試験研究センターのホームページから
申請してください。

<https://www.shoubo-shiken.or.jp>

〈電子申請に関する問合せ先〉
(一財)消防試験研究センター電子申請室
TEL 0570-07-1000

受験票のダウンロード P7~P9参照
受験票は申請者が印刷してください。
(試験日の約10日前に「受験票印刷可能メール」
が送信されます。)

受験票に写真を貼付 P7参照
試験日には、写真を貼った受験票を持参してください。
受験票には、試験室及び集合時間が記載されているので遅れずに集合してください。

受 験

合格発表 P10参照

合格の方

免状交付申請 P10~11参照

再受験する方

受験票(控)や結果通知書は、電子申請の資料にもなりますので大切に保管してください。なお、甲種を受験された方は甲種を再受験する際の受験資格を証明する添付書類になります。

*気象庁が発表する特別警報などの災害情報等に対し、試験日時を変更する場合には、試験開始の2時間前までに、緊急のお知らせをホームページに掲載します。また、事故等により会場や日程を変更する場合には、緊急のお知らせをホームページに掲載します。

免状の交付申請や再交付申請は受験した都道府県支部です。福島県で受験しましょう。

1 試験の種類

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験を、次に掲げる区分ごとに行います。

試験区分	取扱いのできる危険物	
甲種	全種類の危険物	
乙種	第1類	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等の酸化性固体
	第2類	硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等の可燃性固体
	第3類	カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等の自然発火性物質及び禁水性物質
	第4類	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等の引火性液体
	第5類	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等の自己反応性物質
	第6類	過塩素酸、過酸化水素、硝酸等の酸化性液体
丙種	ガソリン、灯油、軽油等	

2 試験日、会場及び願書受付期間

平成30年3月20日に「福島県消防法関係手数料条例の一部を改正する条例」が公布され、危険物取扱者試験の試験手数料等が改定され、平成30年5月1日から施行されることとなりました。

平成30年6月23日実施の第2回試験からは、改定後の試験手数料の額を納入していただくことになります。

(試験手数料の額については、P6の「14 試験手数料の納入方法」を参照してください。)

区分	種類	試験日	試験地	試験会場	願書受付期間	合格発表日	
第1回	甲種	平成30年 6月9日(土)	郡山市 いわき市 白河市	郡山北工業高等学校 平工業高等学校 白河実業高等学校	書面申請	平成30年4月11日(水) ～平成30年4月20日(金) 平成30年4月8日(日) ～平成30年4月17日(火)	平成30年 6月29日(金) 頃
	電子申請						
	電子申請						
第2回	甲種	平成30年 6月23日(土)	福島市 会津若松市 南相馬市	福島工業高等学校 会津工業高等学校 小高産業技術高等学校	書面申請	平成30年5月7日(月) ～平成30年5月17日(木) 平成30年5月4日(金) ～平成30年5月14日(月)	平成30年 7月13日(金) 頃
	電子申請						
	電子申請						
第3回	甲種	平成30年 10月13日(土)	いわき市 南相馬市	平工業高等学校 小高産業技術高等学校	書面申請	平成30年8月22日(水) ～平成30年8月31日(金) 平成30年8月19日(日) ～平成30年8月28日(火)	平成30年 11月5日(月) 頃
	電子申請						
	電子申請						
第4回	甲種	平成30年 10月27日(土)	郡山市 会津若松市	郡山北工業高等学校 会津工業高等学校	書面申請	平成30年9月5日(水) ～平成30年9月14日(金) 平成30年9月2日(日) ～平成30年9月11日(火)	平成30年 11月15日(木) 頃
	電子申請						
	電子申請						
第5回	甲種	平成30年 11月10日(土)	福島市 白河市	福島工業高等学校 白河実業高等学校	書面申請	平成30年9月12日(水) ～平成30年9月21日(金) 平成30年9月9日(日) ～平成30年9月18日(火)	平成30年 11月29日(木) 頃
	電子申請						
	電子申請						
第6回	甲種	平成31年 2月9日(土)	福島市 いわき市 南相馬市	福島工業高等学校 平工業高等学校 小高産業技術高等学校	書面申請	平成30年12月7日(金) ～平成30年12月20日(木) 平成30年12月4日(火) ～平成30年12月17日(月)	平成31年 2月28日(木) 頃
	電子申請						
	電子申請						
第7回	甲種	平成31年 2月23日(土)	郡山市	郡山北工業高等学校	書面申請	平成31年1月4日(金) ～平成31年1月18日(金) 平成31年1月1日(火) ～平成31年1月15日(火)	平成31年 3月14日(木) 頃
	電子申請						
	電子申請						

【禁煙】

試験会場及び会場敷地内は全面禁煙です。

【駐車場】

試験会場の駐車場には限りがあります。福島・会津若松会場には駐車できません。車での来場はしないでください。会場周辺の商店等への無断駐車は、絶対にしないでください。駐車に係るトラブル等は一切責任を負いません。

3 試験開始時間及び集合時間

(1) 試験開始時間

甲種及び乙種 午前10時から
丙種 午後1時30分から

(2) 集合時間

試験の説明を行いますので、午前の部は午前9時30分、午後の部は午後1時までに試験室に入室してください。

4 試験会場・試験時間の変更

試験会場の収容人員等の関係で、試験会場及び試験時間を変更する場合がありますので、必ず受験票で確認してください。

5 受験願書及び試験手数料払込用紙の配付場所

各消防本部（署）、一般財団法人消防試験研究センター福島県支部（以下「支部」という。）又は福島県庁消防保安課で配付しております。

6 受験願書の提出方法及び提出場所

受験申請方法は、書面による受験申請（書面申請）とインターネットによる受験申請（電子申請）の2通りがあります。

(1) 書面申請

受験願書の提出先 郵便番号 960-8043
所在地 福島市中町4-20 みんなゆうビル2階
一般財団法人 消防試験研究センター福島県支部
電話 024-524-1474 F A X 024-524-1475

提出方法 郵送又は持参

郵送による場合は、**申請書類が完備し、かつ受付期間内の消印のあるものが有効です。**

願書受付期間を過ぎてから提出された願書及び記載事項等に不備がある受験願書は受理できません。この場合は受験申請書類を申請者負担で返却いたします。

受験願書が配達されているかどうかの問合せには応じることができません。願書が当センターに配達されたか否かについては、簡易書留郵便や特定記録郵便を利用いただくと、ご自身で配達状況を確認できます。

持参する場合は、受付時間は、9：00～17：00（土・日・祝日を除く）です。

福島県で受験する願書以外は受け付けられません。他県で受験する方は受験願書を受験する都道府県の支部等に郵送してください。

(2) 電子申請

インターネットにより申請することができます。**（インターネットによる申請の場合、申請期限が異なります。詳しくは、一般財団法人消防試験研究センターホームページ (<https://www.shoubo-shiken.or.jp>) をご覧ください。）**

7 試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間 30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間 15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

試験科目の一部が免除される場合は、試験時間が短縮されます。

8 甲種危険物取扱者試験

受験資格は、別記1「甲種危険物取扱者の受験資格」のとおりです。

受験願書に該当する資格を記入するとともに証明書類を添付してください。なお、試験科目の免除はありません。

9 乙種危険物取扱者試験

(1) 受験資格は、必要ありません。どなたでも受験できます。

(2) 試験科目の免除

乙種危険物取扱者試験における試験科目等の免除については、次表のとおりです。免除を希望される方は、受験願書の科目免除欄に記入するとともに、免状のコピーを貼付してください。

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全類	① 法令	全部免除	0問	10問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消		10問		
火薬類免状を有する方	第1類 第5類	① 法令		15問	24問	1時間30分
		② 物化	一部免除	4問		
		③ 性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を有する方	第1類 第5類	① 法令	全部免除	0問	5問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消	一部免除	5問		

〔備考〕 火薬類免状とは、次の免状をいいます。

◇甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）

◇甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

10 丙種危険物取扱者試験

- (1) 受験資格は、必要ありません。どなたでも受験できます。
- (2) 試験科目の免除

丙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、次表のとおりです。

免除を受ける方は、受験願書の科目免除欄に記入するとともに、証明書類を貼付してください。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	① 法令		10問	20問	1時間00分
	② 燃消	全部免除	0問		
	③ 性消		10問		

11 複数種類の受験

願書は試験の種類ごとに作成し、まとめて申請してください。

- (1) 同一時間帯の場合（複数受験）

既に他の乙種免状を所持している方に限り、同時に3種類まで乙種試験を受験できます。その場合の試験時間は、1種類につき35分です。

- (2) 試験時間帯が異なる場合（併願受験）

甲種と丙種、又は乙種と丙種を受験する場合に限り、同日に受験できます。ただし、午前と午後の試験時間となります。

- (3) 2種類以上の試験を受験する方は、種類ごとに受験願書（「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」**既得免状のコピー等添付書類を含む。**）を作成し、ホッチキス等でまとめて提出してください。

- (4) 電子申請では複数種類の申請はできません。

12 受験申請に必要な書類等

- (1) 書面申請

受験する種類ごとに、次の書類が必要です。

ア 受験願書（複写式）

イ 甲種危険物取扱者試験の受験者は、P14の別記1中の「証明書類」欄の書類（原本）を提出してください。（卒業証書、免状は、コピー（縮小したものも可）でも可）

なお、過去にいずれかの支部で甲種の試験を受験したときの受験票（控）又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます。（コピー可）

ウ すでに「危険物取扱者免状」を取得している方は、免状の表と裏の両方のコピーを貼り付けてください。

エ 乙種危険物取扱者試験において、「火薬類免状」を有して試験科目の免除を受ける受験者は「火薬類免状」の写しを貼り付けてください。

オ 丙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける受験者は、「5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類」（消防団長等が証明するもの）及び「消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類」（消防学校長が証明するもの）を提出してください。

カ 試験手数料の「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用**」

(2) 電子申請……インターネットにより受験申請するもの。

各種証明書類が不要な方は、電子申請ができます。

甲種………4種類以上の乙種免状による受験資格を適用して受験する方。

(4種類以上の乙種免状…乙種第1類又は第6類、第2類又は第4類、第3類、第5類)

乙種・丙種…証明書類が不要な方。

(火薬類免状による科目免除を希望する方、消防団員による科目免除を希望する方は申請できません。)

再受験………過去3年以内に受験したことがある方で同じ種類・内容の試験を希望する方。

(一度受付しているので証明書類が不要)

但し、その時の受験票(控)又は結果通知書が電子申請の入力に必要です。

(注 意)

* 電子申請ができる試験種類は1種類のみです。(2種類以上受験する方はすべて書面申請をお願いします。)

* 願書受付期間が書面申請と異なりますので、試験日程を十分確認してください。

* 危険物取扱者免状の交付を受けている方は、免状番号の入力が必要です。

13 受験願書等記入要領

(P18の別記2の「受験願書の記入要領」を参照してください。)

14 試験手数料の納入方法

(1) 試験手数料

試験手数料(非課税)は次表のとおりです。

ア 第1回試験を受験する場合

甲 種	乙 種	丙 種
5,000円	3,400円	2,700円

イ 第2回以降の試験を受験する場合

甲 種	乙 種	丙 種
6,500円	4,500円	3,600円

(2) 書面申請の場合

ア 受験願書と一緒に受領した所定の払込用紙を使って、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。**[機械(ATM)による払込みは不可]**

また、複数種類の受験の場合には、複数分の試験手数料を一括して払い込むこともできます。

なお、払込みには、所定の払込手数料が必要です。

イ 次に「振替払込受付証明書(お客さま用) **受験願書添付用**」を受験願書の試験手数料欄にのり付けしてください。(本人用の「**振替払込請求書兼受領証**」では無効なので、注意してください。)

複数種類の受験の場合で試験手数料をそれぞれに払い込んだ場合は、それぞれの受験願書試験手数料欄に「振替払込受付証明書(お客さま用) **受験願書添付用**」を貼り付けてください。

また、複数分の試験手数料を一括して払い込んだ場合は、試験種類の小さい方の受験願書(例:乙種第1類と5類の場合は第1類)の所定の欄に「振替払込受付証明書(お客さま用) **受験願書添付用**」を貼り付け、他の受験願書には受験願書試験手数料欄にその旨(例:手数料一括払込み、乙1類に貼付)をメモ書きしてください。

ウ 「**振替払込受付証明書(お客さま用) 受験願書添付用**」をなくした時は、再度払い込み手続きをしないと受験できませんから、なくさないようにしてください。

なお、再度払い込みをした後で、「振替払込受付証明書(お客さま用) **受験願書添付用**」が発見された場合

は、申し出により還付します。

エ 金額を訂正したものは無効となりますので、間違った場合は新しい払込用紙をお使いください。

(3) 電子申請の場合

次の決済方法から選択し、それぞれの手続きに従って、払い込んでください。(払込手数料は無料です。)

- ① ペイジー (Pay-easy) 決済 ※情報リンク方式、オンライン方式
- ② コンビニエンスストア決済 (セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、サークルK・サンクス、セイコーマート)
- ③ クレジットカード決済 (VISA、Master Card、JCB、アメリカンエキスプレス、ダイナース)

※ 一般財団法人消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全てSMBCファイナンスサービス株式会社に業務委託しております。

詳しくは、センターのホームページ (<https://www.shoubo-shiken.or.jp>) をご覧ください。

(4) 一旦払い込みされた試験手数料は、お返ししません。

試験手数料、受付期間を十分ご確認のうえ払い込みしてください。

〈書面申請の指定払込用紙〉	本人用受領証	願書貼付用																		
<p>払込取扱票</p> <table border="1"><tr><td>00</td><td>東京</td><td>001703</td><td>136220</td><td>金額</td></tr><tr><td>00</td><td>1703</td><td>136220</td><td>136220</td><td>金額</td></tr></table> <p>一般財団法人 消防試験研究センター</p> <p>住所 〒(郵便番号) 東京都(都道府県) (市区町村) (番地) (ビル名) 氏名 (電話) (電話番号) 通(信用) 関係</p> <p>願書には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書」(受験願書添付用)を貼ってください。 自動払込機で払込んだ場合でも、窓口で「振替払込受付証明書」(受験願書添付用)に日附印を受けてください。</p> <p>裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号第54476号) これより下部には何も記入しないでください。</p> <p>試験手数料は、(一財)消防試験研究センターのホームページ又は各都道府県支部の窓口で確認してください。</p> <p>●試験手数料には消費税はかかりません。</p>	00	東京	001703	136220	金額	00	1703	136220	136220	金額	<p>振替払込請求書兼受領証</p> <table border="1"><tr><td>日付番号</td><td>001703</td><td>金額</td><td>136220</td></tr><tr><td>振替払込金額</td><td>136220</td><td>振替払込金額</td><td>136220</td></tr></table> <p>一般財団法人 消防試験研究センター</p> <p>氏名 (電話) (電話番号) 通(信用) 関係</p> <p>日付印</p> <p>この受領証は、大切に保管してください。</p>	日付番号	001703	金額	136220	振替払込金額	136220	振替払込金額	136220	<p>振替払込受付証明書(お書き不用)</p> <p>一般財団法人 消防試験研究センター</p> <p>001703-136220</p> <p>受験願書添付用</p> <p>氏名 (電話) (電話番号)</p> <p>日附印</p> <p>日附印なき証明書を無効 (払込人→消防試験研究センター)</p>
00	東京	001703	136220	金額																
00	1703	136220	136220	金額																
日付番号	001703	金額	136220																	
振替払込金額	136220	振替払込金額	136220																	

←金額の訂正は無効です。新しい払込用紙を使用してください。

←郵便局(窓口)が押印した日附印を確認してください。

試験手数料はP6参照

15 受験票及び写真について

(1) 受験票の送付方法

ア 書面申請の場合

試験日の概ね10日前に、郵送します。試験日の3日前までに届かない場合は、必ず試験前々日の17時までお問い合わせください。(祝日を除く月曜から金曜日)

イ 電子申請の場合

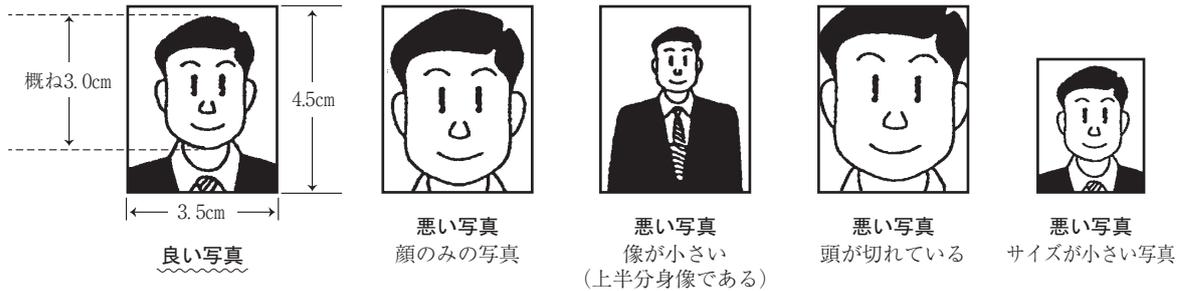
電子申請締切後、申請時に登録した電子メールアドレスに、試験日の概ね10日前までに受験票がダウンロードできる旨のメールが送信されます。試験日の3日前までに未着の場合は、お問い合わせください。受験者本人が受験票をダウンロードして印刷し、試験日当日、必ず持参してください。

(2) 写真について (書面申請、電子申請共通)

受験日前6ヶ月以内に撮影した無帽、無背景、正面上三分身像の縦4.5cm、横3.5cmの大きさ、枠無しとし、鮮明なもの(裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。)を1枚(複数受験・併願受験の場合はそれぞれ1枚)準備して、受験票に貼ってください。

写真は受験者本人の確認及び危険物取扱者免状の作成に使用しますので、試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。写真を貼った受験票が無いと、受験できません。

(受験日前6ヶ月以内に撮影した無帽無背景、正面上三分身像の縦4.5cm、横3.5cmの枠無し)



(写真)

- 写真は全面のり付けしてください。
- スキャナで取込みますので、大きさ撮影条件は厳守してください。
- 乾燥後、写真が変形しない糊を使用してください。
- デジタル写真は写真専用紙に印刷したものに限りません。
- セロハンテープは使用しないでください。

16 試験当日の注意事項

- 受験票を持参しないと受験できません。
- 受験票に前記15の写真を貼付していないと受験できません。
(写真の貼付位置は下記の図の太線部分です。)
- 受験票の氏名欄は、受験者の氏名をかき書で記入してください。
※複数受験・併願受験の場合は、それぞれの受験票が必要です。
(写真は同一のものを、それぞれの受験票に貼ってください。)
- 試験の説明を行いますので、試験開始30分前までに集合してください。
- 試験当日は、受験票、HB若しくはBの鉛筆又はシャープペンシル(ボールペンは使用不可)、消しゴム、上履き等を必ず持参してください。
- 身分を証明する書類等の提示を求めることがありますので、試験当日は必ず身分を証明できる書類等(運転免許証、学生証など)を持参してください。
- 試験会場への電話による問合せはしないでください。
- 試験会場の駐車場には限りがあります。福島・会津若松会場には駐車できません。車での来場はしないでください。会場周辺の商店等への無断駐車は絶対にしないでください。駐車に係るトラブル等は一切責任を負いません。

[書面申請用受験票]

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	平成〇〇年〇月〇日[1/2] 9時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	〇〇〇高等学校 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	第〇〇試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票

写真
縦 4.5cm × 横 3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢
及び撮影年月日を記載し
6ヶ月以内に撮影したもの
(無帽、無背景、
正面上三分身像)

しっかりとり付けて
ください

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「かき書」で記入してください。		
試験日時	平成〇〇年〇月〇日[1/2] 9時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	〇〇〇高等学校 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	第〇〇試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001 (1234)

試験当日、この受験票は回収します。

受験票

(一財)消防試験研究センター 福島県支部
〒960-8043
福島県福島市中町4-20
みんゆうビル2F
TEL 024-524-1474

24025

[電子申請用受験票] A4サイズでプリントアウトし、拡大・縮小はしないでください。

注意事項

- 1 次の場合は受験することができません。
 - (1) 受験票がない場合
 - (2) 受験票に写真を貼っていない場合
 - (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 3 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 6 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いすることがあります。
- 7 電話による可否の問い合わせには、応じられません。
- 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 9 試験日時の変更が生じた場合は、当センターのホームページに緊急情報又は各支部からの重要なお知らせとして掲示します。
- 10 試験会場は全面禁煙です。

(一財) 消防試験研究センター 福島県支部
〒960-8043 TEL 024-524-1474
福島県福島市中町4-20 みんゆうビル2F

危険物取扱者試験 受験票

写真
縦 4.5cm × 横 3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載し6ヶ月以内に撮影したもの(無帽、無背景、正面上三分身像)

しっかりとり付けてください

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。		
試験日時	平成〇〇年〇〇月〇〇日[1/2] 9時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	〇〇〇高等学校 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1 第〇〇試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001 (1234)

試験当日、この受験票は回収します。

山折りしてのり付けしてください



切り取ってください

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	平成〇〇年〇〇月〇〇日[1/2] 9時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	〇〇〇高等学校 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1 第〇〇試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			
受験者 現住所			

← 印字されている住所を確認してください。

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
 - 2 受験票に写真を貼っていない場合
 - 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

17 その他注意事項

- (1) 受験願書を提出し、受理された後の受験の取り消し、試験日、試験の種類、試験会場の変更は認めません。
- (2) 一旦提出し、受理された受験書類は、一切お返ししません。また、一旦納入された試験手数料は、お返ししません。

18 試験の方法

- (1) マークシートを使う筆記試験です。甲種及び乙種の試験については五肢択一式、丙種の試験については四肢択一式です。
- (2) 電卓、計算尺、定規類、特殊機能を持った腕時計の類、携帯電話、スマートフォンの類は、一切使えません。また、携帯電話、スマートフォンの類の電源は切ってください。
- (3) 問題集は試験終了後回収します。

19 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。(試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。)

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、前記9(2)により試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。

20 合格発表

- (1) 合格発表日は、P2をご覧ください。
- (2) 合格者については、合格発表日の正午にセンターのホームページ上に受験番号を掲示します。また、支部入口の掲示板に合格者の受験番号を公示するとともに、受験者には郵便ハガキで合否の結果を直接通知します。
なお、試験結果の合否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。
- (3) 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスはセンターとは関係ありませんので注意してください。

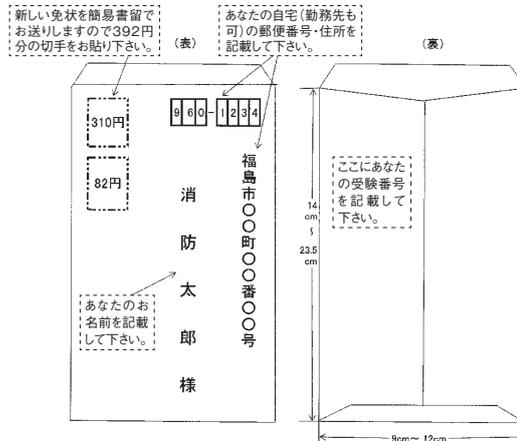
21 免状交付申請の手続き及び免状の交付

合格された方は、指定された日(免状交付申請書に記載)までに、次のものをまとめて支部まで持参又は封筒に入れて郵送してください。(配達状況を確認したい場合は、簡易書留郵便や特定記録郵便をご利用ください。)

- (1) 免状交付申請書及び結果通知書……記載事項に誤りがないかを確認し、所要事項を記入してください。交付申請書と結果通知書は切り離さないでください。
- (2) 交付手数料……………2,900円分の福島県収入証紙を申請書裏面に貼ってください(種類ごとに必要です)。セロハンテープで貼付しないでください。
※ 収入証紙の販売場所は、後記22に記載してあります。
- (3) 新規免状送付用封筒……………定形封筒(長さ14~23.5cm、幅9~12cmのもの)に392円分(簡易書留郵便料)の切手を貼り、表面に本人の住所(勤務先も可)、氏名を、裏面の上部左隅に受験番号を記入してください。
※ 新たに交付された免状を申請者に送るための封筒です。(P11の「作製例」参照)

- (4) 既得危険物取扱者免状……………他の種類の免状をもっている方は、すべての免状を提出してください。(免状を紛失した方は支部へ連絡してください。)
- (5) 交付予定日……………免状の交付は申請日より1ヶ月程度かかります。

【返信用封筒作製例】



- 2種類以上まとめて申請する場合でも、返信用封筒は1枚で結構です。(複数名分まとめて申請される場合は、事前に当支部へ連絡してください。)
- 切手はゼロハンテープで貼付しないでください。

22 福島県収入証紙販売場所

収入証紙の主な販売場所は、次のとおりです。(※ 販売場所に変更となる場合があります。)

- [県 北] 県庁売店、福島市役所売店、交通安全協会（警察署内）、運転免許センター売店、自動車学校
- [県 中] 県郡山合同庁舎売店、郡山保健所、交通安全協会（警察署内。但し、郡山警察署は警友会）、ハイテクプラザ、郡山女子大購買部、自動車学校
- [県 南] 県白河合同庁舎売店、交通安全協会（警察署内）、県南保健福祉事務所、自動車学校
- [会 津] 県会津若松合同庁舎売店、交通安全協会（警察署内）、会津若松保健福祉事務所、自動車学校
- [南会津] 県南会津合同庁舎売店、交通安全協会（警察署内）、農協、自動車学校
- [相 双] 県南相馬合同庁舎売店、交通安全協会（警察署内）、農協、自動車学校
- [いわき] 県いわき合同庁舎売店、いわき市役所売店、交通安全協会（警察署内）、農協、自動車学校

注：上記以外の商店等でも扱っていますので、詳しくお知りになりたいときは、支部へお問い合わせくださるか、センターのホームページ（後記24参照）をご覧ください。

23 個人情報の取り扱いについて

当センターは、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し、適切に取り扱います。

24 問い合わせ先

一般財団法人消防試験研究センター福島県支部

電 話 024-524-1474 F A X 024-524-1475

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

※ 電子申請に関する問い合わせ先

電子申請（インターネットからの受験申請）については、当センターのホームページに詳細な利用方法や、Q&Aが掲載されていますので、申請に当たっては、必ずこれをご確認のうえお申し込みください。

なお、電子申請に関するトラブル等の問い合わせは、下記までお願いします。

一般財団法人消防試験研究センター電子申請室

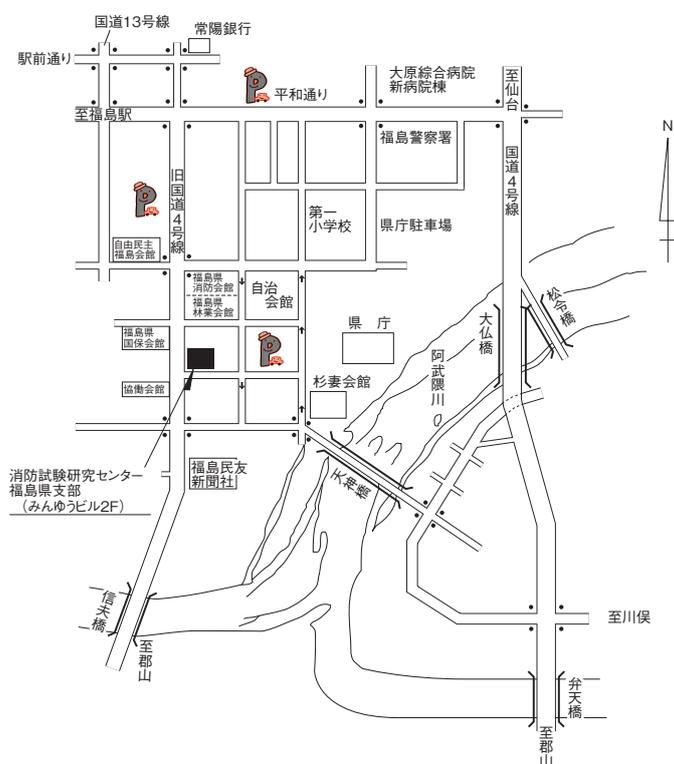
専用電話（全国共通） 0570-07-1000（有料）

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

ホームページアドレス <https://www.shoubo-shiken.or.jp>

※ 一般財団法人消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。

一般財団法人消防試験研究センター福島県支部案内図



※福島市内の共通駐車サービス券システム「」（このマークのある。）に加盟している駐車場を使用した場合、30分のサービス券をさし上げます。

◎試験会場案内図

- 県立郡山北工業高等学校
J R 郡山駅から約 5 km、福島交通バス郡山北工高線約 15 分、郡山北工高下車。



- 県立平工業高等学校
J R いわき駅から約 3 km、新常磐交通バス高久廻り西原・江名廻り小名浜線約 10 分、平工前下車徒歩 5 分。



- 県立小高産業技術高等学校
J R 小高駅から約 2 km、徒歩 20 分。



- 県立福島工業高等学校
J R 福島駅から約 2 km、徒歩 25 分。福島交通バス南沢又・大笹生線約 10 分、工業高校前下車、徒歩 1 分。



- 県立会津工業高等学校
J R 会津若松駅から約 2.5 km、徒歩 30 分。会津乗合バス市内又は東山線約 10 分、堅三日町下車、徒歩 3 分。



- 県立白河実業高等学校
J R 白河駅から約 6.8 km、福島交通バス白棚高速線約 15 分、白河実業高校前下車、徒歩 2 分。



高校生のみ特定試験会場

- 県立勿来工業高等学校
J R 植田駅から約 1 km、徒歩 15 分。



別記 1

甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対 象 者	大 学 等 及 び 資 格 詳 細	願書資格欄 記入略称	証 明 書 類
〔1〕 大学等において 化学に関する学 科等を卒業した 方 (次ページの別 表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校の専攻科、中 等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大 学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	大学等卒	卒業証明書 (原本) 又は 卒業証書 (コピー) (学科等の名称が明 記されているもの)
〔2〕 大学等において 化学に関する授 業科目を15単位 以上修得した方 (次ページの別 表2参照)	大学、短期大学、高等専門学校(高等専門学校は専門科 目に限る。)、大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大 学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力 開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する 大学等	15 単 位	単位修得証明書 (原本) 又は 成績証明書 (原本) (修得単位が明記 されているもの)
〔3〕 乙種危険物取扱 者免状を有する 方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所 等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者 免状(コピー) 及び 乙種危険物取扱 実務経験証明書 (原本)
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けて いる方 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	4 種 類	乙種危険物 取扱者免状 (コピー)
〔4〕 修士・博士の学 位を有する方 (次ページの別 表1参照)	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項 を専攻した方(外国の同学位も含む。)	学 位	学位授与証明書 (原本) 又は 学位記等(コピー) (専攻等の名称が明 記されているもの)

[備考]

- 〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
- 〔1〕、〔2〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。)
(1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
(2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面(P17の書式例1を参照してください。)
- 〔2〕の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
- 〔2〕の「単位修得証明書」は、P17の書式例2を参照してください。
- 〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。
- 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票(控)又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。(コピー可)
- 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。
- 受験願書の氏名と各証明書の氏名が相違している場合は、戸籍抄本等の証明書類を添付してください。

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科	マ	分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科		マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ	官能基変換論
	安全管理学	オ	応化・プロセス工学		化工物理学	キ	機器分析
	安全工学	カ	回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
エ	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミック		化工熱工学		岩石学		金属工学

ヒ	表面分析 肥料学 フ ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生化学 物質生物学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性子測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 ヘ 平衡論 平衡・反応論 ホ 放射線計測学 放射線物性計測学 マ 膜機能工学 マテリアル工学 ミ 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 メ 免疫薬剤学 モ 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学 ヤ 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剂学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 ユ 有機機器分析 有機機能性材料	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性 ヨ 窯業工学 窯炉工学 リ 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー レ
---	--	---	--	---	---	---	---

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

○○第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

○○年 月 日 入学 ○○科○○コース
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 ○○年 月 日 号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年限	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。
平成 年 月 日
(専修学校の所在地)
○○専門学校 学校長 氏名 ○○ ○○印

書式例 2 単位修得証明書

○○第 号

単位修得証明書

○○年 月 日 入学 ○○部 ○○科
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。
平成 年 月 日
○○大学 学長 氏名 ○○ ○○印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

別記2

危険物取扱者試験受験願書

- ◎ 受験願書A面の《記入上の注意》をよく読んでから記入例にしたがって記入してください。
- ◎ A面及びB面があり、複写式となっています。折ったり、曲げたりしないでください。
- ◎ 黒色のボールペンでかい書で正しく書いてください。
- ◎ 書き損じた場合は、横2本線を引いてそのすぐ上に正しく書いてください。
- ◎ 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。

(A面)

危険物取扱者試験受験願書

危

左づめで記入してください。カナ氏名の濁点、半濁点は1マスを使用してください。

左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

申請する日を記入してください。

本籍の都道府県名を記入してください。外国人の方は、「外国籍」と記入してください。

受験願書B面裏の「都道府県コード」を記入してください。

書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方は、メールアドレスを記入してください。(携帯電話アドレス可)

3ヶ月以内に福島県以外の都道府県で申請又は受験した場合は記入してください。

主となるものに○をつけてください。

免状の写真下に記載されている番号を記入してください。

※印は、記入しないでください
 ※印は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください
 ※印は、本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください
 ※印は、免状写真下に記載されている番号です

試験センター発行 H30

試験日 平成 30 年 06 月 09 日	試験種類 甲 乙 丙 種 第 4 類	受験地 希望する受験地を記入してください (P2参照)	甲種受験資格 火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を <input checked="" type="checkbox"/> 受ける <input type="checkbox"/> 受けない	科目免除 乙種危険物取扱者免状の交付を <input checked="" type="checkbox"/> 受けている <input type="checkbox"/> 受けていない 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の消防科を修了した者に <input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない	該当する職業等に1つだけ○を記入してください ① 高校生 ② ①以外の学生、教育・研究機関 ③ ガソリンスタンド ④ 化学工業 ⑤ 危険物の卸売業、小売業 ⑥ 危険物の運送業 ⑦ 危険物を扱うその他の事業 ⑧ 公務員 ⑨ その他
元号コード (昭和:3 平成:4) 甲 年 月 日	免状交付年月日 乙1 年 月 日 乙2 4 18 年 07 月 10 日 乙3 年 月 日 乙4 年 月 日 乙5 年 月 日 乙6 年 月 日 丙 年 月 日	交付番号 08888	※入力番号 0000 0000 0000 0000	交付知事 福島 07	コード 07

(B面)

受験願書

申請日 年 月 日

本籍 都道府県

電話番号 帯電話番号

勤務先等連絡先

連絡先電話番号

内線

※1

ここに「振替払込受付証明書」を貼ってください。

※2 受験料

※3 資格

※4 免除

※5 振込

※6 併願

振替払込受付証明書(お客さま用)
(ご依頼人=郵便局 ゆうちょ銀行のご依頼人)

私受金	¥3400
期日	30.4.11
振替先	消防試験研究センター
口座番号	00170-3-136220
支店	福島市中町4-20
支店名	しょうぼうマンション203
氏名	危険物 太郎
電話番号	024-000-0000
添付印	30.4.11

※受付欄

必ず郵便局又はゆうちょ銀行の日附印を確認してください。

※受験番号

(B面)

この枠に必ず日附印のある「振替払込受付証明書」**受験願書添付用**を貼ってください。自動払込機で払込んだ場合でも、窓口で「振替払込受付証明書」**受験願書添付用**に日附印を受けてください。複数受験で一括払込んだときは(注1)によってください。

第1回目の試験手数料
 甲種は 5,000円
 乙種は 3,400円
 丙種は 2,700円です。

第2回目以降の試験手数料
 甲種は 6,500円
 乙種は 4,500円
 丙種は 3,600円です。

(B面裏)

各種証明書
この部分にのりづけ

各種証明書等はこの部分にのりづけしてください。

都道府県等

北海道	01	福島	07	東京	13	山梨	19	滋賀	25
青森	02	茨城	08	神奈川	14	長野	20	大分	27
岩手	03	栃木	09	新潟	15	岐阜	21	兵庫	28
宮城	04	群馬	10	富山	16	静岡	22	愛媛	38
秋田	05	埼玉	11	石川	17	愛知	23	三重	39
山形	06	千葉	12	福井	18	三重	24		

危険物製造所等における実務経験2年以上で甲種を受験する方のみ必要です。

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名 年 月 日生

取扱った危険物 第 類 品 名

取扱った期間 年 月 日から 年 月 日まで
(年 月)

製造所等の区分 ・製造所 ・貯蔵所 ・取扱所

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明年月日 年 月 日

事業所名

証明者 役職 印

氏名 印

電話

事業所(会社等)の印

証明者の私印

既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄

科目免除に関係なく免状をお持ちの方はコピーを貼ってください。
 ※氏名、本籍に変更がある方は速やかに書換えをしてください。

裏

- (注1) 複数分の試験手数料を一括して払い込んだ場合は、試験種類の小さい方の受験願書(例:乙種第5類と第6類の場合は第5類)の所定の欄に「振替払込受付証明書(お客さま用) **受験願書添付用**」を貼り付け、他の受験願書には受験願書試験手数料欄にその旨(例:手数料一括払込み、乙5類に貼付)をメモ書きしてください。
- (注2) 本人用の「振替払込請求書兼受領書」や自動払込機を受領書では受付できませんので、注意してください。また「振替払込受付証明書(お客さま用) **受験願書添付用**」を紛失しても、当センターでは責任を負えません。
- ※ 受験願書は試験の種類ごとに作成してください。

受験願書作成のチェック

○	チ　ェ　ッ　ク　項　目
	「振替払込受付証明書（お客さま用） 受験願書添付用 」を貼りましたか。間違って、「振替払込請求書兼受領証」を貼っていませんか。
	受験資格又は科目免除を受けるための、資格を証明する書類等を添付しましたか。
	危険物取扱者免状の交付を受けている方は、その免状のコピーを添付しましたか。
	試験日、試験種類、受験地を確認しましたか。

受験願書は、受験を希望する都道府県の支部等に郵送してください。

福島県支部に郵送する際、宛名ラベルとして使用してください。

願書は折り曲げずに郵送してください。
受付最終日消印のあるものまで受け付けます。

✕キリトリ

〒960-8043
福島市中町4-20 みんなゆうビル
(一財)消防試験研究センター 福島県支部